枝川幼稚園

◆『動きのリズム』であそんだよ

11月初旬、枝川幼稚園、保育園の年長児が小島先生と石川先生の指導のもと、ピアノの音に合わせて体を動かして遊びました。『散歩に行こう』ではピアノの音を聞き分け、跳び越える・しりもちをつく動作、『リズム遊びをする』では、野菜名に合わせてリズム打ち、『大きな円いゴムひもで遊ぶ』では全員でゴムひもを握って向い合い、伸び縮みや高低などその動作のイメージに合った曲に合わせて体を動かすなど、様々な動きを楽しみました。『動きのリズム』を楽しむためには、耳を澄ましてピアノの音を聴くことや、音の高低や曲の速さ、イメージなどを感じながら体を動かすこと、そして、友達と一緒に心を合わせて体を動かす楽しさを感じることがポイントです。今後もこのような心の弾む遊びを継続して取り入れながら、しなやかな体作りをしていきたいと考えます。

◆『幼稚園ウィークin枝川』の実施

11月下旬、全国国公立幼稚園の取り組みである『幼稚園ウィークin枝川』を行いました。就学前における幼稚園教育の重要性、国公立幼稚園教育についての理解、そして、親子がともに育つ幼稚園づくりを推進することを趣旨として実施しています。未就園児の保護者や地域の方が楽しみに来園し、各年齢の保育室の環境や遊びを見たり、そばで保護者に見守られながら安心して園児と一緒に遊んだりしました。3歳児の保育室やおひさまルーム（子育て支援ルーム）では、親子で遊びながら、保護者同士の会話も弾み、日頃の生活や遊びの様子など終始にこやかに話している様子でした。また『たんぽぽのお母さん』による紙芝居や絵本の読聞かせ、PTA活動の魅力、園のよさを伝える場を設けることで、幼稚園が親と子どもがともに育つ場であることを知っていただくよい機会となりました。

伊野小学校

◆地域の施設で交流

3年生が12月16日(金)に地域の施設「あいの」でお年寄りの方々と交流をしました。「あいの」に行くとお年寄りの方々が優しく迎えてくれました。最初に、人権擁護委員の方と植えた人権の花を贈呈した後、『世界中の子どもたちが』の歌や『笑点のテーマ』の演奏をしました。3年生の歌や演奏にリズムをとっている方や感動して涙を流されている方もおられました。

次に、グループになってお年寄りの方の似顔絵をかきました。「お年はいくつですか。」「お誕生日はいつですか。」「好きな動物や食べ物は何ですか。」などとお話しをしながら楽しくかいていました。かき終わって似顔絵をプレゼントすると「ありがとう。」「明るい色を使ってくれちゅうね、うれしいよ。」などと言われ3年生も嬉しそうでした。お互いの心が通い合う有意義な交流となりました。

◆地域の方に見守られて

本校では、年間約25回、保護者や地域の方々による読み聞かせがあります。木曜日の朝、8時20分から8時30分の10分間、全学級で日本や外国の童話や民話など、子どもたちの心に響く本を読んでいただいています。「し～ん」と静まった教室、笑い声が聞こえてくる教室、子どもたちは夢中になって聞いています。

この読み聞かせは20年以上も続いているそうです。子どもたちは木曜日の朝を楽しみにしています。

また、学習では地域の人と一緒に調理実習をしたり、昔遊びをしたりしています。社会見学や体育行事で校外へ行く時も子どもたちの安全を確保しながら引率をしていただいています。

このように子どもたちは多くの地域の方々に見守られながら学校生活をおくっています。

伊野中学校

◆伝統の「あいさつ運動」を引き継ぐ

1月13日7時45分から本校の校門であいさつ運動を行いました。

これは伊野中伝統の行事で毎月第2・4週の金曜日に実施しています。

主催する生徒会は3学期から新役員になり、当日は寒さも厳しかったですが、約60人が参加してくれまし